

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学校名	宇部市立小野中学校	実施時間	学校行事
-----	-----------	------	------

1 ねらい

- 自分で判断し、自分の身は自分で守るという防災意識をもち、防災対策について考えることができるようにする。
- 家族や地域の防災意識向上のために、自分にできることを生徒一人ひとりに考えさせる。

2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
1 防災避難訓練での学習内容を振り返る。	・地震火災避難訓練で学んだことを発表させ、全体で共有させる。	・災害発生時の最重要課題は、自分の身は自分で守ることである。また、助けられる人から助ける人へ、生徒の意識が変化するかどうかを確認する。
2 「スマイルとうほくプロジェクト」参加者からの復伝を聞く。 (1) 写真や映像から、岩手県大船渡市の被災時の様子と現在の様子の比較をすることで、災害状況を把握する。 (2) 被災者の方々の言葉から、災害に対する心構えや、注意事項について考える。 (3) 今もまだ復興途中の被災地の方の思いを考え、自分たちの生活を振り返る。	・東日本大震災当時の映像や現在の写真、被災者の肉声やメッセージなどを使うことで、生徒の中で風化しつつある思いを想起させる。 	・東日本大震災の衝撃が生徒の中で徐々に風化しつつある現状を踏まえ、当時の映像や肉声を聴かせる。
3 「わが家の防災ルール」づくりをする。 (1) 今、地震が起きたとしたら、家族とどのように連絡を取るのだろうか。 (2) 学校以外で大地震が発生した場合はどうすればよいのだろうか。 (3) 日頃の準備品には何があるのだろうか。 (4) 家族の防災意識を高めるために日頃からどんなことをしたらよいだろうか。	・被災地の人からのメッセージをもとに、自分たちができる防災対策について考えさせる。	・学校以外で被災した場合に自分で判断して行動できるように、いろいろな場面を想定させる。 〈防災教育テキストP4, P7活用〉 
4 学習の振り返りをする。	・自分がまず実行しなければいけないことや、周りに対しての働きかけについて考えさせる。	・今日から即実行していこうという意欲を、家族にどのように伝えるかを考えさせる。